



ポアイ4大学による連携事業

—安全・安心・健康のための総合プログラムを軸として—



神戸学院大学



神戸女子大学



兵庫医療大学



神戸女子短期大学

講演会

世界エイズデーによせて

参加費
無料

エイズを抱きしめて生きる ～ブラジル・HIV+ 当事者が語る希望の未来～

民主化運動と歩調を合わせてエイズ当事者運動が巻き起こったブラジルでは、「命の権利」を求める人びとが憲法を盾に力強く世論や政策を動かしてきました。いま、「生きづらさ」が覆う日本の私たちが、彼らから学べることは何でしょうか？

現地のようなすがわかる画像・映像を上映しながらお話しします。なかでも「さすがブラジル！」と思わずうなる政府制作エイズ予防キャンペーンポスターとビデオは必見です。

日時 **2014年12月2日(火)** 15:20～16:50

場所 兵庫医療大学 オクタホール

講師 ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ氏

通訳 フリージャーナリスト 下郷さとみ氏

コーディネーター 兵庫医療大学看護学部 工藤里香 講師

【講師紹介】 ジョゼ・アラウージョ・リマ・フィーリョ氏

EPAH 代表、GIV 元代表・現理事
保健省審議会「エイズ国家委員会」前委員

ブラジル人社会活動家。サンパウロ市在住。1985年にHIV陽性の診断を得たのち、陽性者自身による相互支援・権利獲得運動の黎明期に参画。薬のなかった時代を生き抜き、当事者運動のリーダーとして世論や政策を力強く動かしてきた。1994年7月、横浜で開催された「世界エイズ会議」に参加して以来ほぼ毎年来日し、全国各地で講演を重ねている。

*EPAH (エパ) サンパウロの貧困地域でPLWHA(HIV/AIDSと共に生きる人々)とその家族の支援や青少年への予防啓発活動を行うNGO

*GIV (ジヴィ) PLWHA自身が設立・運営するNGO 相互支援や予防啓発、政策提言などの活動を行う



お申込み

お名前、お電話番号を下記までご連絡ください。

ポアイ健康・生活支援ステーション「世界エイズデーによせて」係
〒650-8530 神戸市中央区港島1-3-6 兵庫医療大学内

TEL 080-6204-8793 FAX 078-304-2713 メール chi-ki@ml.huhs.ac.jp

主催：ポアイ4大学連携推進センター 後援：神戸市

※お申し込みの際にいただいた個人情報は、本企画以外には使用いたしません。